

# 今月の15首

佐佐木幸綱・選

風景にみどりの色が抜けている 暮らしのすべてが破片となつて

鈴木 陽美

大丈夫と言っているのに 東京の放射線値のニュースのつづく

駒田 晶子

テレビでは言えない話がどれくらいあるのでしょうかネットに潜る

木村 俊介

大きな谷川健一先生のかくれし姿おもい浮かぶも

晋樹 隆彦

水、電気、ガス止まりたるを言ふわれに「津波と原発」と夫は苛立つ

大口 玲子

滅ぶかもしれぬ世界にわれはゐて小さき人形作りて眠る

野原亜莉子

ガスの香の漂う路地を進みおり男女二列の隊崩れつつ

田中 拓也

水欲しい、下着足りない、被災者の声が聞こえるこのドイツまで

小野フエライ雅美

労ひに涙のみ出づ戦きぬし事は悪夢なり大地震すぎぬ

田中 江子

避難所のおほいなる闇 百三十の寝息のひくくひくくみちたる

本田 一弘

母の死を知る瞬間の映像に被災の少年その頬白し

越智 敦子

花時の上野西洋美術館レンブラントが観し闇を見にゆく

斎藤佐知子

どことなく嘘っぽい日が暮れてゆきずると脱ぐ青い靴下

上原 良美

泥の田に踏ん張り立ちて蓮根引く屈める背の背筋動く

松田 英美

十年振りに一家六人横並びにて撮れば我はみ出ていたり

久松 洋一